

# 令和元年度 こばとこども園 教育活動等に対する学校評価

令和2年2月18日

- 1 こども園の教育目標 …… 明るく素直な子
- ・思いやりのある子
  - ・進んで運動や遊びに取り組む
  - ・自分で考え、のびのび表現できる子
- 2 本年度の重点目標 …… 夢中になって遊ぶ子
- 満3歳 園生活(遊び)を楽しむ
  - 年少 友だちと楽しく遊ぶ
  - 年中 遊びに喜んで取り組む
  - 年長 進んで活動に取り組み、最後までやり通す
  - 年長 感じた事・考えた事を表現する

※評価点 4(十分に成果があった)・3(成果があった)・2(少し成果があった)・1(成果がなかった)

(No. 1)

評価対象	評価項目	評価点		自己評価	学校関係者評価委員
		昨年度	今年度	園としての反省と改善点	御意見
1. 教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	3.1	3.1	教育課程の検討や、園内研修により共通理解を深めることができている。しかし、まだ理解が足りない点もある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね教職員が理解して、指導計画をたてたり、工夫していることは評価できる。ただし①は園の柱なので、8%が理解していないのは問題と思う。</li> <li>・⑥に関して 小学校につながる園児の姿と指導が随所に見られた。</li> <li>・先生の話をしっかり聴く姿</li> <li>・出番まで行儀よく待つ姿</li> <li>・意欲を引き出す言葉かけ</li> <li>・トイレスリッパの整頓など落ち着いた雰囲気のある環境</li> <li>・仏教の教えについても、子どもたちと一緒に親である私たちも学んでいます。</li> <li>・玩具遊びも、柔らかい発想ができるようになったと感じます。</li> </ul>
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	2.9	3.1	色々な遊びを取り入れられるような環境構成に努めている。もっと一人ひとりに目を向け、主体的に遊びを広げていけるようにしたい。	
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	2.9	3.3	必要なこと、改めること、新しいことを話し合い、子どもの姿、環境に合った指導計画を見直していききたい。	
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	2.9	3.2	乳児・幼児と発達のつながりを意識して指導計画を立てられるようにしていきたい。	
	⑤子どもの生活や動き・思いを大切に環境構成を工夫している	3.1	3.5	一人ひとりの姿からの発見をもっと大切に、子どもが思いきり遊びこめる環境を考えていきたい。遊びが発展するような玩具の用意や、廃材利用をしている	
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との接続を意識している	2.6	3	普段の保育や園内研修などで意識づけをしている。まだ足りないところがあるので、考える時間を作っていきたい。	
2. 保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切に、子どもの体調が悪くないか確かめている	3.6	3.8	一人ひとりとスキンシップを取り、体に触れ、表情や様子など日々の変化を見逃さないように努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね良好。⑤は「あまり当てはまらない」が16%であるが、テーマが大きいのでやむなし。(16%を減らす努力は必要)</li> <li>・②に関して 園児の発した言葉などをしっかりと受け止め、また、それに対して表情豊かに返す先生のリアクションが素晴らしかった。気持ちのこもった温かいコミュニケーションができています。</li> <li>・フィジカルな面と併せて、メンタル面の調子についてもよく対応してくださっていると思います。</li> </ul>
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	2.8	3.8	思いを尊重できる関わりや支援を大切にしていきたい。信頼関係を結ぶことで個々の歩みがみられる。支援が必要な子への対応を研修していきたい。	
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、子どもの自主性・自発性を大切にしている	2.5	3.2	自由保育を意識した保育が充実できつつある。子どもの考えを中心に主体性のある保育を目指している。しかし、こころ遊びなど自分たちで遊びを広げて遊ぶ姿があまり見られないように感じることもある。	
	④行事や活動を通して、子ども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	2.6	3.2	年度当初だけではなく、年間を通して学年間の交流をしていきたい。預かり保育室での異年齢の関わりは、日常的に良いことも悪いことも刺激を受けている。	
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	2.9	2.3	正規・非正規にかかわらず情報共有の徹底を心掛けたい。朝礼・終礼を減らした分中身の濃い職員会議ができています。	
3. 教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	3.1	3.2	子どもたちがいかに話をきいてくれるか、日々工夫をしていく。教職員同士がもっとコミュニケーションをとることが大切である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価できる。</li> <li>・⑥に関して 鬼の絵本の読み聞かせ場面。節分の鬼を喉に詰ませたニュースが園児と先生とで共有されていた。</li> </ul>
	②子どもや、保護者との対応には、公平さやかかさずに平等に接している	3.6	3.7	仕事帰りの保護者が子どもの顔を見て安心できるように心掛け、円滑な引き渡しができるようにしている。	
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	3.4	3.6	自己の健康管理を継続していきたい。	

評価対象	評価項目	評価点		自己評価 園としての反省と改善点	学校関係者評価委員 御意見
		昨年度	今年度		
3. 教職員としての能力や良識・適正	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	3.1	3.1	なかなか教職員同士でゆっくり話す時間が持てないが、優先順位を考え大切なお話は話し合うようにしたい。	・保護者と先生方との連絡の取り方が、連絡帳・パステル・TELと3つに散らばっているのどれで連絡を取るのが一番伝わりやすいのか分かりづらいです。 ・職員間同志でゆっくり話す時間がもてない程忙しいようなのは伝わってきますが、よその園もそんな感じなのではないでしょうか？
	⑤子どものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	3.7	3.8	子どもの色々な表情を見逃さず、一人ひとりの小さな成長を共にできることが一番の楽しみ。ちょっとした成長がとても嬉しく感じる。	
	⑥園の子どものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	3	3	あまりニュースなどは見れていない。色々なことに興味をもって取り組みたい。	
4. 保護者への対応	①子どもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使って保護者に適切に伝える	3.4	3.6	個々の様子で気にかかるときにはすぐ連絡を入れるようにしている。顔を合わせた時には積極的にコミュニケーションを取るよう心掛けている。	・様々な保護者への対応は難しい面がある中で、よくできていると評価します。 ・①に関して 欠席・遅刻の保護者からの連絡は、保育システムを使って、携帯等で受付とのこと。保護者の利便性に配慮した対応は、小学校として学ぶべき点が多いと感じた。 ・忙しい中、よく対応してくださっていると思います。
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	3	3.4	話が盛り上がり過ぎて親しげに話してしまうことがあるので気を付けている。意識はしているが、きちんとした言葉で話せるようにしたい。	
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	3.8	3.9	パソコンやタブレット端末の使用頻度が増えたので情報の管理には細心の注意を払いたい。	
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	3.3	3.8	1人では判断せず報告、連絡、相談は徹底したいです。	
5. 地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	2.8	2.8	もっと園を理解し説明できるよう、関心をもって仕事をしていきたい。	・昨年度も今年度も同じような評価点で困難な課題なのだろうと推測します。少しは改善できることを願う。 ・登降園で地区との関係もある程度あると思う。コースを歩いていると、タバコの吸い殻などが捨ててあり気になる時があった。日頃からごみ拾いができたらと考えることもありました。
	②子どもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	2.5	2.5	職員研修などを活用し、情報収集や理解に努めたい。	
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2.3	2.5	具体的な方法や、ニーズなどを含め今後理解を深めていきたい。	
6. 安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	2.5	3.2	その時やその日はきちんと話をしているが、ヒヤリハットとして書いて提出するのをもう少し慣れていかなければと感じる。事例をあげながら、皆で見直す時間を作っていきたい。	・昨年度より今年度の評価が高いので良かった。 ・② 門扉の開錠インターフォンとの連動。不審者対策として羨ましい充実した設備。 ・②について、職員間のコミュニケーションが増えると減ることもあるのかなと感じました。 ・非常口や荷物の整理は保護者会としても協力していきたい。
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	3.2	3.2	様々な状況を想定して意識を高めていきたい。	
7. 研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	3.1	3	研修で得た保育のやり方などを日々の保育に還元していきたい。また、最新の知識や情報の共有をしていきたい。	・自分を高める努力はなかなか難しい面があるが、1つでも2つでも努力して向上されることを期待したい。 ・どの教室も先生のどなたを見ても、日々の研鑽ぶりが伝わってきました。 ・いつも楽しいイベントがあり、子どもも楽しんでいるようです。
	②日々の実践を見合い検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	3.1	3.4	園内研修や、学年会等を有効活用し質の向上に努めている。	
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	3.4	3.2	何か思うことがあるときは講師の先生や他学年の先生、主幹教諭が話を聞いてくれるので話しやすい。	
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心をもっている	3.1	3	読書などほかの事にも目を向けていきたい。家庭も大切に両立していきたい。	

<こども園の教育・保育をより充実していくための御提言>

・各項目において保護者からの信頼度(評価)が高い点が評価できます。事故対応もしっかりされて状況報告を頂いた点も評価したいと思います。これからも期待しています。

・保育園などで、何名かの保護者が当番制で保育を手伝ったりするところもあるようです。こども園になり、保護者同士のつながりも少なくなりがちですが、園や園児とのつながりを大切にしていけたらと思います。子どもへの教育と共に、保護者の教育もしていただけると頼もしいと思います。